

末崎の風土散策 (35)

～伝説「あんこあきらめろ」～ その2

○「アンコ・アキラメロ岩」とは奇妙な名ですが、こうした哀話がこの名に秘められているのです。人によっては「アンコ・アキラメロ崖」とも呼んでいるそうです。

○この伝説の出处(出典)を調べてみた。末崎村誌(昭和2年)、大船渡市史(昭和55年)には物語りも載っておらず、気仙風土記(昭和47年)には簡略で、詳細ではないので調査した結果、次のことが分かった。昭和10年に始めて随筆に書き表したものが、詩人・文人であった白鳥省吾でした。白鳥は明治13年(1890)2月27日、宮城県栗原郡築館生まれで、早稲田大学卒業、詩人として文壇で活躍、ヒット曲「星影のワルツ」等、音頭・社歌・校歌・小唄・民謡・歌謡を多数作詞、また、詩集・評論集・随筆等著書も多く、晩年は千葉県に居住、昭和48年(1973)8月27日、83歳で没している。昭和10年秋、この詩人が釜石小唄作詞のため釜石を訪れていた際、盛岡大船渡に寄るよう声をかけられ、釜石から太陽丸で大船渡に立ち寄った。その際、丹野が碁石海岸を案内している。白鳥は荘厳さと神秘性をもつ海岸を陸と船から巡視し、地元の人達から詳しく説明を聞いている。その中で「アンコ・アキラメロ岩(崖)」の哀しい兄弟の物語りを深く心に刻み、帰って哀話の伝説として著したと考えられる。この伝説を執筆したことは昭和11年11月に丹野寅之助が著作した「気仙の序文」に書いている。○その後、その出たが、地



アンコ・アキラメロ岩 (倉崖)

野寅之助が著作した「気仙の序文」に書いている。○その後、その出たが、地

急がれる被災跡地の利活用

大船渡市は東日本大震災による被災跡地の利活用について、住民の提言を踏まえた方針と実現化方策づくりへのスケジュールを今年3月末までとしていたが、「時間をかけて話し合いを」という声に応じ、大船渡(地の森、下船渡)、末崎(細浦、小河原、泊里、赤崎)については、本年度末までに方向性を固めると見直した。

末崎町の現段階での被災跡地の利活用の方向性(案)は、つぎのとおりである。細浦地区は、長源寺参道を挟んで、商店街と公園(または多目的広場)を設ける。碁石地区(泊里)は①多目的広場を設ける。

②防潮堤を活用した避難路の整備を望む。小河原地区については、中央地区で何度も話し合われたが方向性が見出されず、現在白紙の状態である。これまで、安全で安心して暮らせる住みよい、新たなまちづくりをするため、各地区とも被災跡地利用について何度も協議し検討してきたが、理想から後退せざるを得なくなった大きな要因は、土地問題である。市では防災集団移転事業に係る方、災害公営住宅に入居する方の被災跡地は市で買い上げるが他は買わないとした。そのことによつて、目的にかなうようなまとまった土地にならない。虫食い状

態になつているところは極力換地をお願いしてまとまった土地にして利活用したいとしているが、容易ではない。さらに、5月12日に国(復興庁)は平成28〜32年度の復興予算基本方針を発表し、復興復興事業にかかる自治体負担を実質ゼロとする集中復興期間は延長せず、被災者支援やインフラ復旧、高台移転等の基幹的事業を除いては、自治体にも一定の財政負担を求めるとした。当然被災跡地の利活用に係る費用も削減されかねない。遅れば遅れるほど厳しくなるとの声も聞かれる。

それだけに、早急に被災跡地の利活用の方向性を決めなければならぬ。

お知らせ

まちづくり・復興に向けた懇談会

末崎町在住、市議会議員による町民の皆さんとの懇談会を下記のとおり開催いたしますのでご案内いたします。

- 出席議員**
滝田松男 紀室若男 榊田弘也
- 開催日時と場所**
- 5月28日(木) 午後7時～ 神坂公民館
 - 5月29日(金) 午後7時～ ふるさとセンター 2階会議室
 - 6月 1日(月) 午後7時～ 碁石コミュニティセンター 和室

多くの方々の参加をお待ちしております。

☆デジタル公民館まつさき 支援活動

◇パソコン・ネットよろず相談

パソコンによる文書やチラシの作成、写真の取り込み、インターネットによる電子メールのやり取りやネットショッピングなど、お困りごとに対応します。

日時 5月30日(出) 13時30分～16時

5月31日(日) 9時～12時

◇地域情報発信者交流会

日時 5月30日(出) 18時30分～20時30分

◇特別講演会ライブ中継

『地方創生、シニアが主役』東京霞が関で行われる講演会をふるさとセンターでライブ中継します。

期日 6月5日(金曜日) スケジュール 14時00分

ナルク「中標津」見廻りたいの孤独死防止活動上映

14時30分 基調講演

「超高齢者会…日本のシナリオ」 講師…辻 哲夫氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)

16時15分

Good Practice 発表 「超高齢社会、先進地域医療の実践」 医療の実践 岩手県気仙地区での地域医療の実践と復興 講師…石木 幹人氏 (岩手県医療局理事/岩手県立高田病院 前院長)

17時45分 終了

場所 ふるさとセンター

☆いやしの集い

期日 5月23日(出) 6月13日(出) 6月27日(出) 場所 ふるさとセンター 時間 13時～16時

※裁縫道具をお持ちください。館報4月号でいやしの集いの日時に誤りがありましたことをお詫び申し上げます。